

日 時：令和6年6月24日 13時30分～15時30分

参加者：高松市立亀阜小学校5年生 99名

協 力：全国脊髄損傷者連合会香川県支部

社会福祉法人高松市社会福祉協議会

ことでんバス株式会社

① 車いす利用者疑似体験

車いすを自分で操作し、街中の段差を再現した障害物を乗り越える体験をしました。体験の後は、講師の先生に車いすでの生活についてお話いただき、熱心に質問したり、耳を傾けたりしていました。



② 視覚障がい者疑似・介助体験

アイマスクを着用した当事者役とサポート役の二人一組となり、校内の廊下を歩く体験をしました。馴染みのある場所でも不安でしたが、段差や坂の手前で声掛けをしてもらうことで安心できました。



③ バスの乗り方教室

校内にバスを乗り入れていただき、基本的な乗車体験について学んだほか、バスのバリアフリー設備についても学習しました。バス車両に備えられたいろいろな設備に興味津々でした。



児童の皆さんから頂いた感想

- ・この勉強で目が不自由な人や足が動かない人が、気持ちよく過ごせるには、どうしたらいいんだろうと考えようと思いました。
- ・勇気がとてもいると思うけれどもしょうがい者の方に声をかけ、自分ができることを行動へつなげたいです。
- ・この体験でふだんから考えたことのないことについてバリアフリー体験でたくさん考えて勉強できてよかったです。
- ・この体験を友達や家族などの周りの人に教えたいです。



この教室を通して考えたことの作文もいただいたびよ!



バスの乗り方教室を開催しました

開催：令和6年7月30日（火）
14時～15時45分

参加者：

放課後等デイサービス
あかりぷらすを利用されている
小～高校生 12名

協力いただいた団体：

ことでんバス株式会社

体験内容：

- ①オリエンテーション
- ②バスの死角を体験してみよう
- ③バス乗車体験
- ④バスマップでうちの近くのバス停探し
- ⑤運転手さんとおはなしタイム



#ことでんバス

#乗降体験

運転手さんと、
おはなしできました！

#バスの死角体験



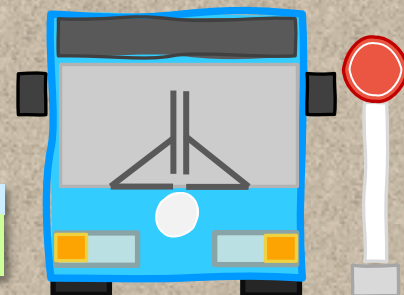
バスの近くでは、
遊ばないようにしよう！



ふんふん…
なるほどびよね！



#路線図でバス停探し



花園小学校でバリアフリー教室を開催しました

開催日時

令和6年9月25日水曜日
13時10分～14時55分

参加者

高松市立花園小学校3年生 45名
ご協力いただいた皆さん

- 香川県視覚障害者福祉センター
- 社会福祉法人高松市社会福祉協議会
- ことでんバス株式会社

視覚障がい者疑似・介助体験



手引きの方法や、どんな声かけをすれば安心できるかを学びました。

児童の皆さんから頂いた感想

- ・ かべやものにぶつかるかドキドキして不安でした。でも介助の人がいてくれたので少しは安心しました。(視覚)
- ・ だんさをおりたりのぼったりするのがさいしょはこわいなと思っていたけどうしろむきでおりたらこわくなかったです。(車いす)
- ・ いろいろな工夫があることがわかった。こんど一人でバスに乗ってみたいと思いました。(バス)
- ・ 目の見えない人が歩くこわさや、車いすでだんさを下りるときの落ちそうな感かくなどが分かったので、しょうがいのある方がいたら、声をかけたり、手つだったり、自分にできることをしたいです。

体験を通じて自分ごととして捉え、今後についても考えることができました！

びよ

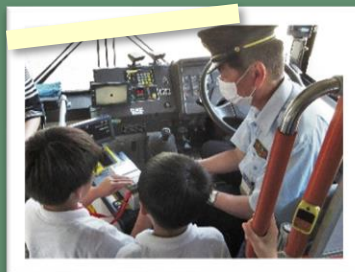


車いす利用者疑似・介助体験



車いすで段差を下りたり上ったりするときの注意点を学びました！

バスの乗り方教室



バスにはスロープや外のスピーカー、優先席など色んな工夫があることを学びました！



林崎小学校でバリアフリー教室を開催しました

日時

令和6年10月30日水曜日

参加者

鳴門市林崎小学校 4年生2クラス 50名

ご協力いただいた皆さん

- 社会福祉法人鳴門市社会福祉協議会
- 徳島バス株式会社
- 徳島県立障がい者交流プラザ視聴覚障がい者支援センター



▲ バスの乗降体験

降車ボタンを初めて知る
児童が多くいたびよ



当事者の方のお話もあり、
障がいの理解に
つながりました!



▲ 車いす利用者の乗降見学



車いす利用者疑似・介助体験

児童の皆さんの感想

- 車いすで友だちにおしてもらう時に
どきっとしてちょっとこわかったです。
- 車いすの後ろのところをふまなきゃ
上に上がらないことがわかった。



視覚障がい者疑似・介助体験

児童の皆さんの感想

- しかくしょうがいしゃの方の大変さが
よく分かりました。
- これらのことをこんごいかしていきた
いです。

バスの乗り方教室

児童の皆さんの感想

- ✓ バスをおりるときボタ
ンをおすことがわかり
ました。
- ✓ バスはしょうがい者
のためにくふうしてあ
ることがわかった。



東予港でバリアフリー教室・フェリーの乗り方教室を開催しました

概要

名称 : 楠河小学校バリアフリー教室・フェリーの乗り方教室 in オレンジフェリー
日時 : 令和6年11月1日金曜日 13時40分～15時10分
場所 : 東予港 おれんじおおさか船内
参加者 : 西条市立楠河小学校5・6年生30名
主催 : 国土交通省四国運輸局
協力 : 四国開発フェリー株式会社、社会福祉法人西条市社会福祉協議会、CIL星空
協賛 : 四国旅客船協会

児童の皆さん
 は講師の方に
 たくさん質問
 されていたび
 よ～！



車いす利用者の方の講義

講師: CIL星空代表 井谷様

「障害の社会モデル」の考え方についてお話いただき、障がいとは社会の側にあり、周りの環境の変化や手助けによって乗り越えられることを学びました。



車いす利用者疑似・介助体験

講師: 社会福祉法人西条市社会福祉協議会

車いすの操作方法を教わった後、段差に見立てた障害物や、バリアフリー化された船内のエレベーターや廊下の移動を車いすで介助・自走していただき、車いす利用者の方の移動の難しさや、介助時にどうすれば安心してもらえるかを実感しました。



フェリーの乗り方教室

講師: 四国開発フェリー株式会社

ロイヤルやスイートといったまるでホテルのようなグレードの客室や、入り口の広いバリアフリー客室等についてもご説明いただきました。また、普段は入ることができないブリッジにも特別に見学させていただき、色々な設備に興味津々の様子でした。

児童の皆さんからの感想

- ・その人がしょうがいじゃなくまわりがしょうがいということがわかった。
- ・介助の人は、車いすの前のタイヤをうかせるのにけっこう力があるし、車いすを自分で運転するのは少しのたんさでもこわかったです。
- ・フェリーやバリアフリーの工夫は、とてもしっかりしていてすごかったです。とくにへやの入り口の広さが、車いすの人のためにすこし広がっているというのが、車いすにのっている人にとってとてもありがたいと思いました。

オレンジフェリー船内見学

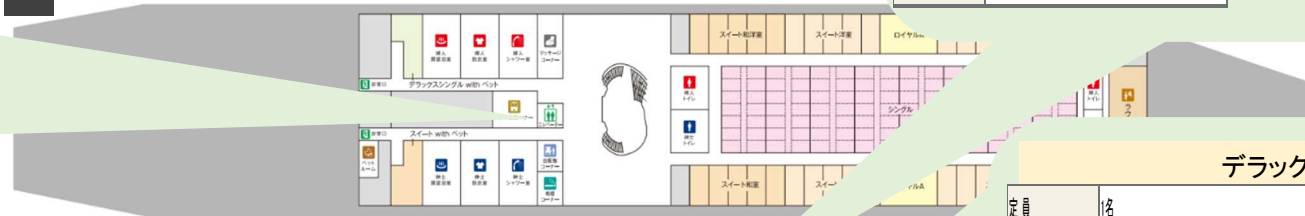


おれんじ えひめ
東予港～大阪南港間に就航中。おれんじ
おおさかと日替わり運行



おれんじ おおさか
東予港～大阪南港間に就航中。おれんじ
えひめと日替わり運行

5F



4F



船内エレベーター

車両甲板から客室フロアま
でエレベーターで移動可能



バリアフリースイレ

4階フロアに設置



バリアフリー浴室

4階フロアに設置

スイート

定員	2名
お部屋面積	16.80㎡(9.2畳)
入り口ドア幅	65cm (バリアフリー席は90cm)
設備	アメニティグッズ・浴衣・スリッパ等・テレビ・洗面台・クローゼット・加湿器(期間限定)
ベッドサイズ	幅100cm 長さ210cm TWベツト
コンセントの場所	ナイトテーブル/洗面所/デスク
コンセント個数	4箇所

全24室



デラックスシングル

定員	1名
お部屋面積	8.90㎡(4.87畳)
入り口ドア幅	65cm (バリアフリー席は85cm)
設備	アメニティグッズ・浴衣・スリッパ等・テレビ・洗面台・クローゼット・加湿器(期間限定)
ベッドサイズ	幅100cm 長さ210cm
コンセントの場所	ベッド/サイドボード/洗面所
コンセント個数	3箇所

全49室



シングル

定員	1名
お部屋面積	3.45㎡(1.89畳)
入り口ドア幅	65cm (バリアフリー席は85cm)
設備	スリッパ
ベッドサイズ	幅85cm 長さ210cm
コンセントの場所	ベッド内 1箇所
コンセント個数	各ベッド 2個

全212室



オレンジフェリー船内見学

◆ 四国分科会委員であるCIL星空さんを講師として招いたバリアフリー教室とあわせて、四国開発フェリー株式会社さんの案内のもと船内（おれんじ おおさか（2018年12月6日就航））のバリアフリー設備を見学させていただきました。



実施内容

- 日時：令和6年11月1日（金）
- 場所：東予港フェリーターミナル

- 主催：四国運輸局
- 協力：四国開発フェリー株式会社
CIL星空（四国分科会委員）

- 見学場所：おれんじおおさか 船内

・デラックスシングル



・デラックスシングル（バリアフリー）



・スイート（バリアフリー）



・バリアフリー浴室



・バリアフリートイレ



・バリアフリー設備周辺の船内移動経路



・船内エレベーター



好事例

- バリアフリールームでは、入り口の幅が約85cm以上確保されており、車いすユーザーの方がスムーズに入室できる設計となっていた。その他にも室内の手洗い器がセンサー式になっていたり、緊急呼出ボタンが低い場所に設置されるなどバリアフリー化が図られていた。
- バリアフリー浴室やバリアフリートイレの手洗い器に設置されている鏡に角度を付けることで車いすユーザーの方の利便性の向上が図られていた。
- 船内の移動経路やエレベーターの幅についても、車いすユーザーの方が利用しやすい空間が確保されていた。

上八万小学校でバリアフリー教室を開催しました

日時：令和6年11月6日(水) 13:30~15:30
参加者：徳島市上八万小学校3年生 61名

バスの乗り方教室

講師：徳島バス株式会社



バリアフリーへの工夫や、内輪差などバスの周りで気をつけることも学びました！

バスが曲がる時、
後ろのタイヤは
内側を通るんだね！



困っている方を見かけたら、まずは
お声がけをしてもらいたいびよ～！



車いす利用者疑似・介助体験

講師：社会福祉法人徳島市社会福祉協議会



車いすの前輪を浮か
せるのは力があるね

車いすの構造を学んでいただき、
乗車している方の気持ちを考え
て体験していただきました！

視覚障がい者疑似・介助体験

講師：徳島県立障がい者交流プラザ視聴覚障がい者支援センター

声かけがあると
安心できたよ！

手引きの方法のほか、弱視の方が
どのように見えているのか、当事者
の方にお話しいただきました！



児童の皆さんからの感想

- ・バスのぼうがオレンジ色のわけがわかった。
- ・しかくしょうがいしゃの人や、車いすの人のたいへんさがよくわかりました。

従業員向けのバリアフリー研修を開催しました

日時：令和6年12月3日火曜日

参加者：ことでんバス株式会社 乗務員等 10名

場所：ことでんバス株式会社 本社営業所

協力いただいた講師の先生：

香川県視覚障害者福祉センター

① 視覚障害疑似体験



② サポート体験



◀ 運転席から席へ誘導

「カードをかざす場所やバスの行先等見えない方もいるので、口頭で案内があるとわかりやすいです。」

③ 当事者講師による講義



出口の状況（縁石や段差）を白杖で探るため、時間がかかることがあります。運転手さんから、「ゆっくりでいいですよ」という風に言ってもらえると、すごく安心できると思います。

④ 障害者差別解消法等説明



合理的配慮の提供や差別的取扱いの禁止といった、障害者差別解消法の概要を、事例も交えながら説明いたしました。

とても勉強になりましたよ！



【実施概要】

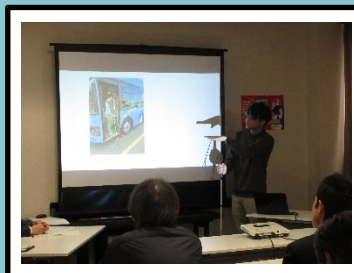
日時: 令和6年12月3日(火)
場所: ことでんバス(株)本社営業所会議室
主催: 四国運輸局
参加: 香川県視覚障害者福祉センター
ことでんバス株式会社

【バリアフリー研修】

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合う社会の実現に向けて、ことでんバス株式会社さんの従業員の方を対象に、視覚障がい者疑似・サポート体験や障がい当事者の方からの講義を実施しました。

【意見交換】

研修後には、香川県視覚障害者福祉センターの方等とことでんバス株さんの意見交換を行いました。
香川県視覚障害者福祉センターさんに日頃よりバス、電車を利用している障がい当事者の方からの意見・要望を収集していただき、また、ことでんバス株さんからも視覚に障害のある方へのサービス向上のために、乗務員の方から悩みごとや困りごとについて意見の収集を行っていただきました。



○意見交換

【香川県視覚障害者福祉センターの方等からの意見・要望】

- 白杖をもつようになってからは行き先を聞いてくれたり教えてくれることは増えたように思います。また、道路とバスの段差がないように停めてくださったり声かけしてくれ感謝しています。
- 行き先表示など見やすくしてほしい。まちなかループやレインボー循環バスのような表示だったら弱視の人は助かります。
- バスに乗車した時、盲導犬と一緒にだと、空席を探すのに他のお客様に迷惑しない様に気を使います。運転席からどこが空席か教えていただくと助かります。
- 乗降時には、安全のため介助を駅員等へ必ず依頼しています。毎回丁寧に対応していただいています。ありがとうございます。引き続き、どうかよろしくお願い致します。また、その場にいる他の乗客のかたからも声をかけていただけることでとても安心して乗車しています。これについては要望ですが、駅で声かけ運動のポスターを掲示していただいています。そのような、安全な電車利用のための社会啓発の取組を今後も続けてください。ことでんには、感謝を伝えてください。
- 降車の際に歩道、縁石等の車外の状況について、呼び掛けいただけると安心して降車できる。

【事業者の従業員の方等からの意見・要望】

- 白杖をお持ちの場合は気が付きやすいですが、お持ちでないお客様もいると思います。我々が気づいていない場合には、お知らせして頂けたら大変ありがたいです。
- お客様が乗車された後、座席までの誘導などが知りたいです。また、座席に座れなかった(満席など)としたら、どのような対処をすればよいですか。
- お降りの際、交通系ICカードを所持していればカードリーダーの場所を教えたり出来ませんが、両替を含めて現金でお支払いする場合はどのような手伝いをしたら良いですか。
- バス案内所の窓口にチャージなど来ていただいた際は口頭でお伝えなどするのですが、イルカカードの残高が今どれ位か、残額確認は苦勞されていると見受けられます。
- 混雑時などには白杖をお持ちの方に気づかないことがありますが、できる限り乗り込んでくる乗客に注意を払うように心掛けたいです。
- 後部の座席が空いている場合は案内した方がいいですか。

従業員向けのバリアフリー研修を開催しました

概要

開催日：令和6年12月6日金曜日
 場所：高知空港旅客ターミナルビル
 参加者：高知空港内事業者職員 29名
 共催：高知空港ビル株式会社
 協力：社会福祉法人南国市社会福祉協議会
 一般社団法人福祉住環境ネットワークこうち

まずはお困りごとをお伺い
 することが大切だよ！



体験

高齢者疑似体験

南国市社会福祉協議会さんのご指導のもと、1人ずつ高齢者疑似体験セットを装着して空港内を歩行いただきました。また、それぞれの装具がどのような状態を再現しているのかご説明いただきました。
 関節一つ一つの曲がりにくさや足が上がりにくいことなどにより、高齢の方の移動の困難さを実感いただき、今後の対応時に必要なサポートを考えていただきました。



講義

各障害の理解と必要な配慮について

福祉住環境ネットワークこうちの笹岡様より、障害があっても、高齢になっても、旅を楽しめるよう、当事者の方のニーズやコミュニケーションをとる際のツール等をご説明いただきました。そして、何よりもおもてなししたいという気持ちをもって接するのが大切だと感じました。



障害者差別解消法について

令和6年4月より事業者の皆さんも法的義務化された合理的配慮の提供など、障害者差別解消法の概要について、弊局職員より説明させていただきました。



参加者の感想

- こちらがどうするのか決めつけるのではなく、お相手が望んでいることを聞きながらお手伝いすることが大切と気づかせて頂きました。
- 人それぞれ感じられる事が違うと思いますので いつでもお声がけいただけるような姿勢が大切だと感じました。高齢者体験では、視野が狭くなると同時に社会から遮断されたような気持ちがした為、安心できる声がけや接し方が必要だと強く感じました。思い込みで助けようというのではなく、望まれる事をサポートする姿勢を忘れないようにしたいと思います。
- 私自身が障害を持っていますが、障害も千差万別、お客様対応も千差万別で大変難しいと感じていました。このことを共有できたことは非常に心強く感じました。この気持ちを部下に伝えていくこともまた難しいのですが、あきらめることなく障害のある人もない人も分け隔てなく使いやすい高知空港を目指していきます。